

「ご挨拶」

牧師 久保 賢太郎

(グッド・サマリタン・チャーチ協力牧師)

「ご挨拶」

牧師 金承熙

(在日大韓基督・西部地方会会長・岡山教会)



「宣教師はお金持ち!？」

ヨハネ福音書2章1節～11節
をお読み下さい。

戦後間もなくのことですから、
もう随分昔のことになりますが、
戦争で人々の心は荒廃し、多くの

教会・福祉施設・学校等が爆撃で焼失し、日本の教会
が苦難の途をたどっていた時、海外の諸教会が、祈り
とともに莫大な経済的援助をしてくれました。その影響
もあってかクリスチャンが急増しました。G・H・Q(マ元
帥総司令部)は『日本は数年のうちにキリスト教国になる』と本国に報告したくらいです。

そんなこんなの中に、何時しか『宣教師はお金持
ち』という迷信が人々の間に入ってきました。

「愛の家」は、韓国からの宣教師、金鐘賢牧師と姜
貞淑師母によって始められましたが、その時、御夫妻
は所持金は底をつき、大阪には知人もほとんどなく、
かんじんの日本語も殆ど出来ないの、来る日も来る
日も家の中でグルグル歩きながら祈る毎日であった様
です。すると、不思議と次々と問題は解決し、救援と救
霊の働きが同時に調和して推進されてきました。借り
ていた二階建の鉄骨の集会場は満杯になり、恒久的
な土地建物の必要性が唱えられていましたが、それは
不可能に思える6,500万円だったからで、皆の前で祈
るには少し勇気のいる数字でした。信徒が今のよう
にいる場合とは違います。ヨハネ福音書2章によれば、
結婚の祝宴は今やたけなわ、然し提供するぶどう酒が
ない、そんな困窮の時にイエス様は、水を良いぶどう
酒にするという奇跡をなさって、御自分の栄光を現され
たのです。このことは直ぐにそこに居合わせた人々全
員が知ったのではなく、水を汲んだ手伝いの者たちは
知っていた。(ヨハネ2:9)

当時、文字通り水を汲む働きをされた方々、特に毎
日の教会活動をしなが土地建物の物件を探し、献金
を呼びかけ、韓国教会にも同様のお願いのため一時
帰国される等々、力を尽くして働かれた金宣教師ご夫
妻が一番水を汲んだ僕だといえましょう。貧乏な宣教
師に続いて働いた多くの兄弟姉妹も忘れてはなりません。
「愛の家」を訪問して『キリストの愛を知った』と伝え
て下さる方々は2、3人ではありません。

イエス様は、彼に従う者たちを訓練し、神の国の拡
張を見せて下さいます。



「誰も主の御前にて高ぶるこ
とはできない」

わたしの一つの誇りは、自分の
弱さから導かれた「砕けた心」で
あります。伝道師・牧師になる前
にあらゆる仕事をしてまいりまし
た。尼崎や大阪で日雇い(日払い)の肉体労働をしてい
る時、私は多くの青年労働者と出会いました。大体が
一般企業や会社から締め出された競争社会において
「負け組」と言われるような若者でした。彼らとの出会い
を通して私は考えました。本当の幸せとは何だろうか、
また本当の自由とはなんだろうか？

自分への「甘さ」により社会から締め出され「敗北」し
た者は少なくありません。しかし「勝ち組」に残ったから
とてそれが神様に誇ることでできるものでしょうか？格
差社会というものは大昔から存在する半恒久的な社会
であると思いますが、真の幸せや生きがい、人生の価
値観というものは単に二項対立的なものからだけでは
判断できないものだと思います。問題は環境がどうで
あれ、立場がどうであれ、私たちが人生において真の
神様と出会うかどうかの方が大切なのであります。

あのラザロとお金持ちの話思い出してください(ル
カ17:19～31)。ラザロは物乞いでありましたが、天国
に行き、お金持ちは無視したので地獄へ行
きました。この図式はお金持ちが悪いというのではなく、
傲慢で自己中心、また無関心で憐れみのないものであ
ったから天国の市民となることができなかったと言えま
しょう。ですから「神は愛です。愛のないものは神を知
りません」(ヨハネ4:8)という御言葉から天国の市
民権は「愛すること」ということがわかるのです。つまり
愛がなければこの世においていくら「勝ち組」でも最後
の救いには到達できず、その一方で、私たちがたとえ
全てを失ったとしても神様の愛がともにいませば恐る
ることはないのです。

そして「愛の家」はそのことを教える尊き「救いの場」で
もあります。私は「愛の家」の働きは奇跡であり神の力が
働いていると思っているので、まさに使徒行伝2:43～47
で語られている「不思議な業としるし」の世界であります。
金鐘賢牧師任ご家族の働きは聖霊によりまさに神様に豊
かに用いられていると確信できます。そして私たちが主
に祈り求め続ける時、御霊が働き、金牧師任のように豊か
なる賜物が与えられることを信じていきたいと思ひます。

宣教チームの訪問

今年の夏も恒例の宣教チームが来教しました。原州第一長老教会（15名）、ソウル発音教会（8名）の2チームです。毎年、訪問するチームは「愛の家」の活動を心に留め、来訪する度に日本の弱い人々を愛し宣教活動や奉仕をして下さいます。又、チームは何ヶ月も前から私達のために讃美・ダンスを準備し、失業者・野宿者に向け伝道集会を行って下さいます。この野宿者達に対しての深い愛と強い信仰心を持って奉仕して下さいますので、集会に参加した人々がみんな恵みに満たされ喜びながら帰って行きます。チームの日本への情熱的な宣教活動によって、イエス様を信じる人々が多く現われますよう、切に祈ります。同時に「来年も素晴らしい宣教チームを送って下さい。」と神様に切に祈っています。



木曜伝道集会・日曜伝道集会

木曜・日曜集会には100名近くの失業・野宿生活者の方々が来られます。木曜集会ではAM. 9:00に入場し、支援者から頂いたコーヒーを飲みながらキリスト教関係のビデオを鑑賞しシャワー室を使用したりしてリラックスされています。礼拝の時間になると、姜貞淑師母、岡田修一兄弟(木曜担当)と平野真希執事(日曜担当)の三人の素晴らしい歌声の導きにより賛美を合唱し、礼拝へと進んでいきます。礼拝は毎週、各先生方が説教の奉仕をして下さいます。奉仕して下さいる先生方は当教会の金鐘賢牧師、申容燮副牧師を始め朴珍烈牧師(平野教会名誉牧師)・朴栄子牧師(豊中第一復興教会)・金景淑牧師(ホサナ教会)・全聖三牧師(布施教会)の各先生方です。多くの兄弟達が礼拝を通して各先生方の恵み溢れる御



言葉を聞き感動を覚えイエス様を信じるように祈ります。9月には朴栄子牧師が説教奉仕の前に「落語」をしました。腕前はプロ並みで普段は笑顔の少ない失業者・野宿生活者たちも大きな声で笑ったりして笑顔で聞き入っていました。礼拝後は支援者から頂いた食材で調理された食事が提供され、参加者が共に交わりながら食事をしておられます。兄弟達が帰る時に支援者からいただいたパンや果実などをおみやげとして渡す時もあります。兄弟達は「ありがとうございました。」と感謝の気持ちで帰ります。これも支援して下さいた皆様方へのお礼の言葉だと私達は思っています。

金曜炊き出し会・衣類提供会

毎週金曜日には野外(西成公園)でのジャンボおにぎりと味噌汁を提供する炊き出し会を行っています。その日は早朝より準備に掛かりお米45kg程を使用し、ジャンボお握りを毎回200個程、奉仕者の皆様と共に作ります。又、支援して下さったお米で作る時は感謝しながら握り、作業終了後は全員で賛美歌を歌い、炊



き出しの場所へと出向きます。すると野宿している兄弟達はすでに並んで待っています。又、炊き出しと同時に皆様から頂いた衣類を提供する週もあります。自分の求めている物を見つけた時には、満面の笑みで感謝の言葉を言って帰られます。支援者の方々に心から感謝いたします。これからも暖かいご支援をお願いいたします。



聖書勉強会・洗礼者教育

今年も恒例の「聖書勉強会」と「洗礼者教育」が行われました。「聖書勉強会」は毎木曜日に初級クラスは「新しい主の家族の道」(講師－姜師母)に10回にわたり、中級クラスは「伝道訓練」(講師－金牧師)8回にわたり、それぞれのテーマを持って2クラスに分かれて行われました。今回の初級クラスには木曜、日曜伝道集会に出席し、御言葉を聞き、イエス様のことをもっと学びたいという人達が多く参加されました。勉強会では全員が時間前に着席しテキストを見て予習し、講義中は講師の話をよく聞き、質問した時もテキパキと答えていました。講義の内容を自分のものとする姿勢が感じられました。殆どの方が最後まで受講し卒業する事が出来ました。「洗礼者教育」も毎週日曜日に行われ、今回は3人が参加されています。いつも、洗礼を自ら受ける決心がつかず迷う人々が多い中で、今回は自ら「洗礼を受けます」と強い意志を持って教育に望まれていました。今年のクリスマス洗礼は3人が洗礼を受ける予定です。尚、今年のイースター洗礼式では1人の兄弟が洗礼を受けられました。

教会創立18周年記念礼拝

浪速教会は今年で18周年を迎えました。その記念礼拝が7月5日の主日に久野まさみ姉妹(ピアノ演奏)、谷口はるな姉妹(シンガー)両名を特別ゲストとしてお迎えし、おごそかに行われました。1部、2部と2回に分けておこなわれ、2部の野宿者の伝道集会では普段このような機会がない人達が天使のようなうた声とピアノ演奏に聞き入れ多くの参加者が涙を流し感動していました。浪速教会は皆様も御存じの通り、この世の最も弱く貧しい人々を救う為に、金鐘賢牧師と姜師母との二人三脚で何も無いところから開拓伝道されました。最初は自分達も貧しい中、野宿者の為に食糧を分かち合いながら病人を看病し、弱者のために献身的に奉仕をされました。その姿を神様が御心に留めて下さり、大いなる祝福をこの浪速教会「愛の家」に与えて下さり、そしていつも暖かく御支援して下さいる全国の支援者の皆様方のおかげで、今日に至っています。これからも浪速教会「愛の家」は弱者の為に奉仕できる様、金牧師、申副牧師、姜師母をはじめ信徒一同が心を一つにして奉仕させて頂く所存です。



「愛の家」の風景

www.ainoie.org

2015年度全信徒修養会

今年も恒例の全信徒修養会を8月24日から26日まで3日間の日程で大阪府貝塚市の大阪府立少年自然の家で行いました。今年は15名と多くの信徒が参加し、開会礼拝から始まり、午後の礼拝、夜の祈禱会、そして早天祈禱会、分団祈禱会・野外黙想会を行いました。祈禱会では姜師母による賛美の導きで賛美歌を大いに歌い、踊り、又、礼拝では金牧師の導きを通して御言葉を聞き、ともに祈り主との交わりの時を持つ事ができ、大変恵まれました。そして、祈禱会の合間には、神様が創造された大自然の山々の豊かさに恵まれて、施設の周りを散策しながら歩き心が洗われました。アスレチックを楽しんだり、近くの山の山頂まで挑戦した人々もいました。夕食は施設の食堂で美味しくいただきました。食後は施設の中でリラックスをし、日頃の疲れを癒しました。



「教会学校」大好きな子ども達！

今年も元気いっぱい子ども達が毎主日の教会学校に参加しています。礼拝では姜貞淑師母の導きで一人一人が大きな声で賛美し、御言葉を真剣に聞き、自分のため、友達のために祈っています。小さい子ども達が手を合わせ、心から祈っている姿を見ると、私達が反対に恵みと勇気をもっている様な気がします。そして、今年もクリスマスで、失業者・野宿者の方々に発表する聖劇・歌・楽器演奏等を主日礼拝後、各先生の指導の元に一生懸命練習しています。発表会での天使の様な子ども達の姿に感動し、恵まれ、多くの兄弟達がイエス様を信じるように、心が開かれますようお祈りしています。そして、これからも子ども達がイエス様の教えを良く守り、命の大切さを知り、立派に成長し次世代の浪速教会の中心となる様に私達信徒一同は心より祈っています。



奉仕者の声

黄裕眞(ファンユジン) 姉妹
(韓国韓東大学4年生、短期研修生)



私は浪速教会で10月から来年の1月まで短期研修生として奉仕する事になりました。浪速教会では2013年大学の短期宣教チームの一員として2週間過しました。当時、金牧師先生が毎日私達のため早天祈祷会を導いて下さり、自分が西成で野宿生活者に仕えて来た人生と浪速教会

「愛の家」を開拓してから現在に至るまでの経験を証してくださいました。その時、説教を聞いている中で、神様が私に熱い感動を与えて下さいました。そして神の声(召し)を聞きました。「他国でいろいろな難しさを乗り越え、今まで野宿者宣教に仕えてきた牧師先生の苦難の道をあなたも歩む事ができるか?」と言う声でした。当時、私はこれが神のお召しなのか、それとも単なる自分の考えなのかわからず途方に迷っていました。私は神様に「これは本当に神の声でしょうか、あるいは自分の考えでしょうか教えてください」と祈った記憶があります。短期宣教を終えて浪速教会を離れる時、心の中で神様に「再び浪速に来られるようにして下さい」と祈りを捧げました。

学校に戻り、それまでは相談心理と視覚デザインを複数専攻していましたが、お召しを聞く体験、またその他様々なことから、視覚デザインを副専攻とし、社会福祉を専攻することにしました。そのために転科し、今は社会福祉を勉強するようになりました。その後、心の中に他者のため生き他者を助ける者になりたいという熱望が湧いてきました。日本でのお召しを忙しい生活に追われて忘れていましたが、前学期、個人的にいろいろな困難な問題をかかえ、休学をするようになりました。

問題の理由として、私は幼い頃から父親の事業がうまくいかなかったことから、ひたすら貧しく育てられ、それによる劣等感や経済的負担がいつも私を抑えていました。今、人生を振り返ってみると、それも全部神様の導きであると思い、感謝なのですが、その当時は神様に対する深い誤解と不満だけが深まり、さらに、



自分の信仰とはなにかと迷うようになってしまいました。そして4年生になり卒業後の進路に対するプレッシャーまで重なって結局、休学することになりました。私の家は5代続くクリスチャンホームでしたので私も

自然に母胎信仰で教会の中で育ち、礼拝して賛美することが当たりまえでした。そのような私が突然、神様も礼拝も遠くなったように感じ、神様はどんなお方なのか、神に対する悩みや疑いが生じるようになりました。そして習慣的には礼拝をささげていましたが、最も重要な私自身と神様との関係が離れてしまったと感じるようになりました。その日から私はこう祈りました。「神様が愛でしたら私にその愛を知るように導いてください。貴方がどんなお方か教えてください。」

本来は休学後、就職のため研修や勉強をする計画でしたが、神様の導きは私の考えをはるかに超えて大きくてびっくりしました。神様は私の祈りを聞いて下さり神ご自身がどのようなお方であるか一つずつ教えてくださいました。日本に来る前には中国にある孤児院で60人余の子供らと二ヵ月半の間、ともに生活しながら奉仕をしました。中国から帰国後、これからの計画について祈っている時、浪速教会に研修活動をお願いし、受け入れていただきました。浪速教会では主に食事の手伝いや、礼拝の伴奏の奉仕をしています。ここに来る前には、何ができると悩みましたが、来てみると、あまりにも多くの方々に愛され助けられるばかりで申し訳ない思いで一杯です。

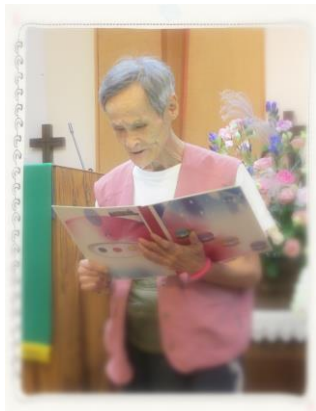
今は弱い者を愛する神様、最も低い小さき一人一人を愛される神様の愛を少しずつ知りながら、自分の中にあった神様に対する誤解と不満が次第に溶けはじめ、日々、神の心と愛を知り見習う事を求めています。ここに来ているおじさん一人一人を通して神の心と憐れみを教えていただいています。言葉もよく通じない、何も出来ない私を温かく迎えて下さって、あれこれと自分のものを分け与えてくださる浪速教会の信徒の皆さんに感謝します。牧師先生と師母任を通じて口だけでの愛と福音ではなく実践をして表す愛と福音を学んでいます。宣教が本当に難しい日本でおじさんたち一人一人が最善を尽くして野宿生活者に仕える姿を日々習って行く事ができ、感謝しています。今まで浪速教会を導いて下さった神様がこれからも聖霊の力で復興を起こしてくださる事を期待し祈ります。浪速教会の牧師先生、師母任、信徒の皆さんありがとうございます。愛しています。



奉仕者の声

『 浪速教会に来てからの奇跡 』

浅野間正勝 執事



ハレルヤー！神さまの元で働く浪速教会のなにわバンドでドラムを勤めています浅野間と申します。どうぞよろしくお願ひします。

私は長崎で育った九州男児です。母が私を育ててくれました。ある日、石原裕次郎主演の映画『嵐を呼ぶ男』を観た時に「ドラムはカッコいいな。自分にはコレしかない！」そう思いました。丁度その時、私の母親がキャバレーのホステスをしていたので、その関係でボーイとして雇ってもらい、その傍らでドラムを借りてほぼ独学で練習を始めることができました。18 歳くらいまでは他に食堂やラーメン屋の出前、肉屋でのバイトをしながらドラムの練習をし、19 歳で福岡にあるプロダクションに入れてくれる話があり、プロドラマーとしての人生が始まりました。そして 23 歳で東京へ移り住みました。演奏の為に米軍基地やキャバレー、また観光ホテルやそのナイトクラブ等々を回りました。事務所からあちらこちらへと送られて日本全国も回りました。

ところが、世の中にカラオケブームというものが始まった為に、段々と私たちの仕事が減っていき、遂に失業してしまいました。そこから 2 年間の野宿生活が始まりました。その後、大衆劇団の照明係兼ドラマー兼切れ役者として 6 年ほど働かせてもらいました。しかし、また仕事を失ってしまい野宿生活へ戻りました。その時、炊出しをしていたインマヌエル教会と出会い、1 年ほど住み込みで奉仕をさせていただきました。そこで初めて「奉仕」という他人のために何かをする行為そのものを知り、経験させていただきました。料理をしてみんなにいっぱい食べてもらった時、達成感を感じました。初めは腹を満たすために集会に参加し、また楽器を演奏させてもらおうとしたのがきっかけでした。でも教会で 1 年を過ごす中で、誰かに勧められたわけでもないのに自ら洗礼を受けようと思いました。しかしその教会も経済状況が悪く、立ち退きを余儀なくされました。その時に浪速教会へ

移動することを薦められ、2～3 回炊出しに通ったことのある教会だし、その人々も知ってるのでいいなと思い従いました。それが今年でちょうど 7 年目になります。浪速教会で聖書と讃美歌をいただき、いい出発点となりました。

炊出し等の奉仕者の数が少ないし、手伝いたいなと思いました。前の教会でも少し経験があったので自分にもできると思い、できる限りのことをやってみました。ひとりで作業している時は「なぜ自分だけ？」とたまに思う事も正直にあります。でも、それを考えてしまったら奉仕の意味がなくなるので、その時はそれを考えないようにしています。

しかし、奉仕をしながら段々と目が見えなくなっていきました。生まれつき目が斜視の上に栄養失調で目に斑点ができていたのですが、前の教会に入った時から視力がぐんと落ちて、浪速教会で奉仕しようとして食器棚の前に立っていくらお皿に顔を近づけても、どれがどの皿か分からないほどになっていました。眼科に 4 年間通い、色んな先生に診てもらいましたが、下手に手術して失明してしまう危険性があったので中々先に進む治療ができませんでした。しかし、ただ 1 人だけ手術しようとして薦めてくれる先生がいたので、私はその先生を信じて素直に従いました。浪速ファミリーの兄弟姉妹も熱心に祈ってくださいました。そのおかげで今は 1 キロ先の信号までもはっきりと見えるようになりました。神さまがその先生を送ってくださったと信じています。「素直に従ったこと」それで全て良い結果をもらえたと思っています。教会

と出会い、私は人生が変わりました。また、失明寸前の目を癒す奇跡をも起こしてくださった神さま、いつも命と健康をあたえてくださり感謝いたします。

最後に浪速教会愛の家をご支援してくださっている皆さま、私は皆さまのご支援によりこのような神さまの御業を体験して人生を変えられて過ごしています。心よりお礼申し上げます。我々もその支援の人々に甘えすぎないように、自分でできる範囲の事はできるように成長していきたいです。これからも浪速教会をよろしくお願いいたします。



【特集 「愛の家」の恩人① — 金鐘賢牧師
朴昌煥(パクチャンファン) 牧師

私は1997年5月在日大韓基督教会関西地方会に加入して初めて朴昌煥牧師任と出会いました。朴牧師任は私にとって大先輩であり私が日頃目指していた理想的な牧師であったので心から尊敬していました。私は聖霊に満たされ福音伝道に励む宣教、社会の正義、小さくされているマイノリティのための社会宣教を同時に行う事を願っていました。朴牧師任は日本のリバイバルのために超教派的な活動をなさいました。特に奥様朴多美師母任と共に趙ヨンギ牧師のラジオ放送の翻訳通訳を担当をなさいました。また豊能地区牧師会に積極的に参加し地域宣教、リバイバルのためにも熱心な活動をなされました。救霊会館の伝道集会の説教や通訳の奉仕も長年に渡ってなされました。



「愛の家」には2000年末頃から始まり体調を崩され亡くなる直前(2005年末)まで毎月1回、野宿者伝道集会の説教奉仕をして下さいました。朴牧師任は力強く分かりやすく一人でも多くの魂を救おうとして全身全霊でメッセージを語られました。

2002年「愛の家」運営委員会を発足する時朴牧師任は久保賢太郎牧師任(グット・サマリタン・チャーチ協力牧師)に勧めて下さり、後に久保先生は、運営委員になられ毎月1回説教の奉仕をして下さり、グット・サマリタン・チャーチを中心として衣類生活用品収集や支援協力活動をして下さる事になります。

今も忘れられない出来事は私が豊中復興第一教会に説教奉仕に行った時拙い私の説教を録音し間違ったところをひとつひとつ書き出して下さり励まして頂いたことです。

2006年4月26日朴牧師任が亡くなられてからは娘さんである朴栄子牧師任が続けて毎月1回説教奉仕を担ってくださることとなりました。

朴昌煥牧師任のご奉仕、協力、祈りのお陰で今の「愛の家」があると思い心より感謝致します。



「愛の家」会計決算書(2015.4～2015.11)

収入	15予算	15. 4-11	備考
定期後援会	800,000	524,000	65.5
一般後援会	1,900,000	820,956	43.2
クリスマス献金	1,000,000	15,000	1.5
食事献金	1,500,000	552,720	36.8
総会支援金	500,000	0	0.0
御米献金	360,000	70,320	19.5
小計	6,060,000	1,982,996	32.7
繰越金	1,375,468	1,375,468	
合計	7,435,468	3,358,464	45.2

支出	15予算	15. 4-11	備考
事務・備品・印刷費	330,000	164,495	49.8
交通費	100,000	4,100	4.1
車両維持費	300,000	0	0.0
奉仕者支援金	1,500,000	965,000	64.3
研修費	150,000	0	0.0
御米代	1,000,000	303,788	30.4
副食費	2,900,000	1,597,313	55.1
会議費	30,000	8,910	29.7
発送費	100,000	16,848	56.2
愛の家建築積立金	800,000	0	0.0
救済費	50,000	0	0.0
修理施設費・予備費	175,468	30,000	17.1
小計	7,435,468	3,114,854	41.9
繰越金		243,610	
合計	7,435,468	3,358,464	45.2

「愛の家」建築会計決算書(2015.4～2015.11)

収入	15予算	15. 4-11	備考
建築献金(一般)	1,500,000	10,000	0.7
建築献金(教会信徒)	1,500,000	1,689,000	112.6
アルミ集会献金	200,000	207,131	103.6
教会建築積立金	800,000	0	0.0
愛の家建築積立金	800,000	0	0.0
地方会支援金	540,000	270,000	50.0
受け取り利子		64	0.0
貸付返済金	1,500,000	0	0.0
小計	6,840,000	2,176,195	31.8
繰越金	2,684,690	2,684,690	
合計	9,524,690	4,860,885	51.0

支出	15予算	15. 4-11	備考
銀行融資返済金	7,844,000	2,455,015	31.3
リフォーム工事代	800,000	0	0.0
募金交通費	300,000	0	0.0
諸経費	0	0	0.0
福祉館会計貸出金	0	0	0.0
予備費	580,690	0	0.0
小計	9,524,690	2,455,015	34.3
繰越金		2,405,870	
合計	9,524,690	4,860,885	51.0

負債現況(2015年11月30日現在)

教会堂「愛の家」センター建築	
銀行融資金	5,508,000 円
教会債	0 円
合計	5,508,000 円



路上生活者支援のための クリスマス献金のお願い



主の御名を讃美致します。

御子イエスのお誕生を喜ぶ季節となりました。支援者の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より私ども、浪速教会「愛の家」の活動へのご理解、ご協力を賜り、まことに感謝申し上げます。

この一年も主の導きにより、浪速教会「愛の家」は皆様からの多くの愛を受け、またその愛を分かち合う活動ができました。韓国を初めとする外国からの宣教チームや日本の志のある方々のご奉仕・ご支援、また失業者同士の心からの献げ物により、失業者の方たちはもちろん、教会に集う兄弟姉妹、また「愛の家」に関わる全ての人々が「5つのパンと2匹の魚」の出来事のように心もお腹も神様の愛で満たされる一年を過ごすことができました。感謝いたします。

また今年も、主は私たちの活動にいつも必要なものを備えてくださいました。週3回行われる炊き出し、日曜礼拝、木曜集会、また越冬対策の夜回りなど、すべてをつつがなく継続させていただくことができました。その中で、今年も失業者の中から、主に出会い、主に新たにされて、残りの人生を主と共に歩む決心をされた方々が与えられました。これも皆様のお祈りと尊いご奉仕のおかげだと存じます。どうぞ引き続き、私ども、浪速教会「愛の家」の支援活動を覚えてくださり、お祈りくださいますようお願い申し上げます。

現在、私ども「愛の家」は炊き出しを一週間に3回行っております。金曜炊き出しには毎回約150人～250人、日曜礼拝や木曜集会にも常時100人近くの路上生活者が温かい食事を求めて並べられます。炊き出しの実際経費として、毎週57,000円の支出があります。

(お米50kg・12,000円、副食費45,000円、合計57,000円)

力なく、小さな赤ちゃんとして私たちのもとへとおいでくださった主イエス様のお誕生を喜ぶこのとき。路上生活を強いられる方々に、御子イエスのお誕生の喜びと愛と希望を届けることができますように、クリスマス献金のご協力をよろしくお願い申し上げます。

「愛の家」事業：金曜炊き出し、木曜集会&日曜礼拝と食事提供、散髪奉仕、共同生活、聖書勉強会、福祉相談、福祉館運営、越冬夜間パトロール、生活用品収集分配

2015年度クリスマス献金目標額：100万円

◇ 定期、一般後援者募集

一般後援：1000円以上、定期後援：毎月1000円以上

◇ 衣類、生活用品、カイロ、食材、お米を送って下さい。

郵便振替：00930-0-299392 在日大韓基督教会 浪速教会

送り先：〒557-0061 大阪市西成区北津守3-2-3浪速教会「愛の家」

Tel 06-6561-4712、6562-0109、Fax 6561-4709

E-mail:ainoie@msn.com ホームページ：www.ainoie.org

2015年12月



在日大韓基督教会 浪速教会「愛の家」

共同委員長 森田 幸男 牧師

共同委員長 李 清 一 牧師

総 務 金 鐘 賢 牧師

献金者お名前(敬称略・順不同)

(2015年4月～2015年11月)

◆ 定期後援金

全国教会女性連合会、グッド・サマリタン・チャーチ、洲本チャペル、大阪東南教会、横浜長老教会、長野教会、金鐘賢・金英姫、金景淑、古川富也、吉村俊郎、新国久男、大木正典、匿名

◆ 一般後援金

総会教育委員、南浦和教会、日本教会泉北伝道所、洲本チャペル、アメリカバプテスト教会宣教チーム、ダビデの世代宣教チーム、原州第一教会宣教チーム、大阪女学院短期大学研修会、ミオコーポレーション、長谷川洋一、金鐘賢、金景淑、金英姫、金正吉、安基月、申容燮、朴栄子、サンユン、ゴウン、ソンチャンウ、チェスジョン、チェスヨン、チェチヘ、チョポル、ラソンジョン、岡真由美、河内常男、岸田、古海勝位、山住達樹、澄川満喜子、川中智英、大木正典、中島禎二、長谷川洋一、蛭子正人、福山圭星、野津道代、和渕清、匿名

◆ クリスマス献金

洲本チャペル、茅ヶ崎東教会婦人会

◆ 建築献金

関西地方会、グッド・サマリタン・チャーチ(洲本チャペル)、韓国ソウル発音教会、金鐘賢・姜貞淑、平野竜一・真希、竹内清、大木正典、村本瑛子、申容燮・清水のぞみ、森元孝・金英姫、金正煥、金斗賢・金善栄、久保賢太郎、片本武三、匿名

◆ お米、お米献金

神戸布引教会壮年会、高槻伝道所、グッド・サマリタン・チャーチ、洲本チャペル、大阪女学院短期大学研修会、久保健太郎、小林勝、森元孝・金英姫、元浦末浩、平野真希、崔愛蘭、匿名

◆ 食材

大阪北教会、グッド・サマリタン・チャーチ、関西フードバンク、久保賢太郎、西川、清水真一・佐代子、中川桃子、李ヒヨンス、崔愛蘭、匿名

◆ 衣類、生活用品

グッド・サマリタン・チャーチ、豊中第一復興教会、久保健太郎、京都教会、金英姫、若林幸美、中川桃子、お好み焼たんぽぽ、匿名

「愛の家」センター 建築ニュース



2015年度も間もなくの幕

を閉じようとしております。

1年間「愛の家」の働きと建築献金募金活動に協力して下さった皆様に心より感謝致します。

私達「愛の家」は、2015年度まで「愛の家」センター建築返済を終える目標を立てて募金活動して来ましたが、「愛の家」の会計は毎年4月1日～翌年3月31日までです。皆様にお知らせ申し上げた通り私達「愛の家」は今回で最後の建築募金の御案内をさせていただきます。

私達「愛の家」は、2003年建築募金活動を初めて、2007年「愛の家」センターが完工し、今年で12年になります。長期に渡って募金活動に協力して下さった皆様のお陰で私達「愛の家」は活動の拠点を確保する事ができました。大変お世話になりました。

今現在実際の建築負債は約200万円であります。「愛の家」が建築負債の重荷を降ろし、力を尽くして西成で路上生活者宣教支援活動に取り組んで行くことができますように最後までお付き合い頂ければ幸いです。今回は最後のご案内となりますので皆様のご協力をお願い致します。

「愛の家」建築負債現状(2015年11月30日現在)

負債	5,508,000 円
貸付金	1,500,000 円
一残金	1,981,000 円
実際の負債	2,027,000 円

国内募金目標額: 200万円

- ①年1口 5000 円以上
- ②毎月1口 1000 円以上
- ③各教会、団体、組織別の建築献金
- ④遺産の寄付

発行責任者 金鐘賢・森優紀慶
発行所 「愛の家」広報部
〒557-0061 大阪市西成区北津守 3-2-3
浪速教会「愛の家」内
TEL 06-6561-4712(教会)
FAX 06-6561-4709(教会)
E-mail: ainoie@msn.com
ホームページ: www.ainoie.org
郵便振替口座: 在日大韓基督教会浪速教会
00930-0-299392